地域を守る人たち

「防災リーダー」

町内会における自主防災活動を積極的に推進するため、防災組織の編成、活動計画の企画や実施について、地域の防災活動の中心を担っているのが防災リーダーの人たちです。

毎年、人材の育成や防災に関する知識・技術を地域活動に役立ててもらうため「防災リーダー研修会」を区役所で実施しています。平成九年から開催され、延べ四百人の区民の方が受講しています。

主に町内会の防火防犯部などに所属し、防災活動に意欲的に取り組んでいます。

▲2月に行われた、防災リーダー研修会の様子（中央区民センター）

「中央消防団」

町内会などの自主防災組織と連携して地域防災を進めています。また、災害が発生したときは、自ら現場に駆けつけ消火や救助活動なども行います。一本部・十三分団で組織され、総勢二七〇人の消防団員が所属しています。

消防団員の皆さんは、それぞれ仕事を持ちながら活動していますが、自分たちの地域を守るために、日夜訓練を行っています。

▲6月21日の防災総合訓練。整然と並ぶ消防団員（札幌競馬場東駐車場）

もう一度見直そう災害への備え

災害時は、さまざまなトラブルが発生します。事前に備えておくことが、家族を守ることにつながります。次のことを確認しておきましょう。

①「非常持ち出し品」を備えておきましょう。

ライフラインが停止し、物資を手に入れることが困難になることが予想されます。**下の囲み**を参考にしてください。

②「避難場所」を確認しておきましょう。

避難は身を守る意味で最も重要なことです。安全な場所に確実に避難するためにも、避難場所を確認しておきましょう。

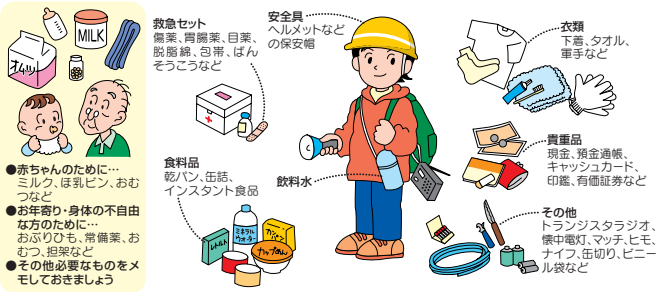
③「連絡方法」を家族の皆さんで確認しておきましょう。

災害は、家族と一緒にいる時に起こるとは限りません。お互いの連絡方法などを確認しておきましょう。

そして、実際に災害が起こったときは、①～③を思い出して、冷静に対処してください。

また、**避難するときは**、二次災害を防ぐために可能な範囲で**「ガスの元栓を閉める」、「電気のブレーカー切る」**などを行ってください。

非常持ち出し品



※食料・水（一人一日3ﾘｯﾄﾙ）は、最低3日分用意しましょう。

自主防災活動のアドバイス

①防災活動を行うためには、お互いの役割や関係をしっかりと体系づけておくことが大切です。

町内会では、総務部・防犯部・青年部・女性（婦人）部などの組織が整っていますので、この組織を生かして編成することも一つの方法です。

②いざという時に、経験が生かされます。そのためにも、繰り返して訓練をすることが大切です。

①で役割を決めたとしても、役割を受け持った方が必ずその役割を担当できるとは限りません。弾力的な運用が必要になります。

③訓練は、できるだけ消防機関などの指導を受けるようにすることが大切です。

訓練の予定日時を決めた上で、事前に電話などでご相談ください。中央消防署または最寄りの出張所にお問い合わせください。

中央消防署予防課
☎（215）2120

◆◆◆◆

近年、札幌では大きな地震災害などは発生していませんが、いつ起こるとも限りません。皆さんも、万一に備えて、家庭の防災対策を見直しましょう。

そして、大切な家族の命を守るために、積極的に地域の防災訓練へ参加してみてはいかがでしょうか。

9月9日の「救急の日」に応急手当講習会が行われます。詳しくは、区版の8ページをご覧ください